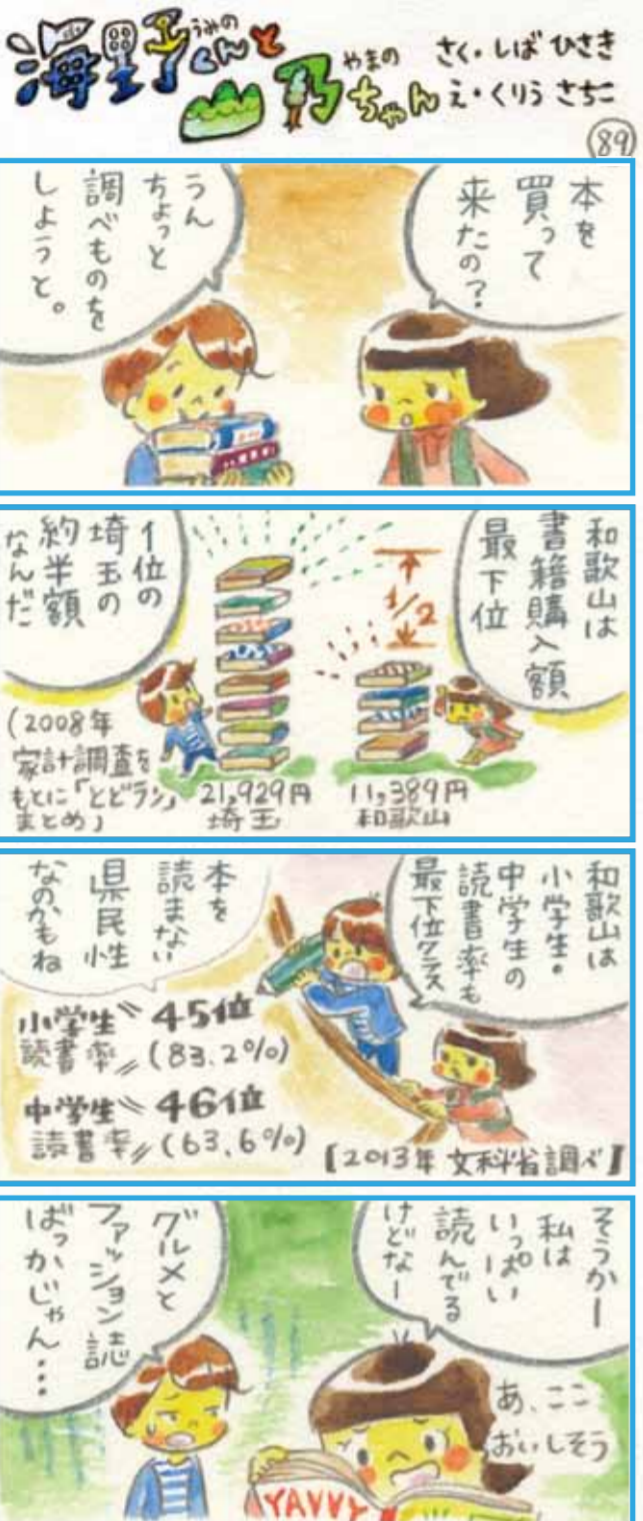


隔週金曜掲載  
 特定非営利活動法人  
**わかやま NPO センター**  
 〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12  
 TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355  
 E-mail info@wnc.jp URL http://www.wnc.jp/  
 編集 志場 久起

# わかやま 和歌山を創る新聞 かつく

Vol.89  
 2014.05.30

**和歌山県 NPO サポートセンター**  
 「NPO 法人を設立したい」「NPO ってなにが知りたい」「NPO・ボランティア活動に関する情報を広く発信したい」「活動のチラシの印刷や長尺プリントをしたい」  
 …サポセンはそんな活動を応援する施設です。是非お越し下さい。  
 月曜～土曜 9:00～20:50  
 日曜 9:00～17:30 (月曜・祝祭日休館)  
 わかやま NPO 広場 検索



## 防災から後災へ ～被災後の未来を考える～

いまから3ヶ月前の2月27日、和歌山から37人の大学生がバスで東北に出発しました。東日本大震災から3年が経ちましたが未だ「復興した」と呼べる状態でない今、被災地を「風化」させたくない、「風評」に苦しむ人々のために何か出来ないかという思いを抱いた学生が立ち上げた全国的な運動「きっかけバス」プロジェクトです。

東北に元気を！ たくさん笑顔を見たい！ 学生が立ち上げた国民運動。  
**和歌山の学生が東北にいきます！**  
 和歌山のテーマ  
**防災から後災へ ～被災後の未来を考える～**



【きっかけバス47】  
 全日本47都道府県の学生2000人がバスで東北3県に付きます。お土産に和歌山の和歌山産物や、被災地に寄付するボランティアを募集しています！

**報告会**  
 3月8日(土) 14:00～16:00  
 2階大会場の和歌山県民会館。お土産も販売します。お申し込みは、和歌山県民会館事務局まで。

参加者募集と報告会開催に使われたチラシ

「きっかけバス」とは？  
 「きっかけバス」はもう一度、日本中に復興の「旋風」を巻き起こしたい。そう考えた47都道府県の学生たちが、東北3県にバスで行くプロジェクト。  
 この取り組みは公益社団法人助けあいジャパンの「東北復興支援プロジェクト」として内閣府の被災者支援活動に認定され、さらに観光庁の連携プロジェクトとして活動しています。  
 「きっかけバス」は、学生が中心となって大人や行政機関、メディアなど、みんなが参加する「国民運動」として展開する事で注目をあつめています。大学生が継続的に関わる10年続くプロジェクトとして活動していく計画です。  
 たとえば「お金はないけれど、時間に余裕がある」という学生はボランティアで復興に関わることに。「時間は関係ないけれど、お金に余裕がある」という学生は寄付で学生を支援する。こうしたふうにより、それぞれの世代が自分の得意な事で復興に関わり、世代を超えた協力プロジェクトです。  
 たった2人の学生から始まったこの活動は、学生の春休みを利用して岩手、宮城、福島沿岸部を2泊4日で周ることで、被災の広域性と地域の被災状況、今の課題をきちんと見てまわることが出来るそうです。  
 学生たちが行く2月から3月にかけては寒さが厳しく、訪れる人が極端に少なくなる季節なので、彼らが行き、現地の宿に泊まり、仮設商店街で食事やお土産を買うことにより経済的な支援にもなるそうです。  
**和歌山からも「きっかけバス」を**  
 友人が和歌山で「学生リーダー」を探していること知り、是非や  
 りたい、と名乗りでたのが、和歌山県立医科大学保健看護学部1回生の寺田将光さんです。まずは、仲間を募り、資金の400万円を作るため和歌山駅での募金活動や寄付集めをおこないました。  
 その後資金が確保でき、みんなで東北3県を回る事ができました。そこで学生のみならず、震災前後の風景の変化や、津波の高さに怖さを肌で実感したそうです。  
 ただ見学をするだけではなく、夜は、自分たちの思ったことをみんなに伝え合う「ダイアログ」を展開し、より深く「震災」を感じ、考えるようになったそうです。  
 また今回の見学では、参加者の多くが、現在和歌山県でも発生が懸念されている南海トラフの巨大地震に対する、地域の防災についても真剣に考える機会になりました。  
 最初は軽い気持ちで参加した学生も、現地に行き「今」の現状を見て感じ、また陸前高田市では、遺品捜索に参加したことで、「3・11」の教訓を学び、防災・減災について真剣に考えるようになったといえます。  
 3月8日に開催された報告会では、各グループごとに報告をし、自分たちの課題や決意についても語っていました。参加者の中には、自身が通う大学と一緒で、災害時の防災ガイドラインを作っていく活動も始めたいという具体的な活動計画も立てています。  
 今後、第2弾、第3弾…と「きっかけバス」を和歌山から出発させるため、引き続き和歌山駅での募金活動など続けるそうです。みなさまのご協力をお願いします。  
 (金 宏美)



きっかけバス ウェブサイト (公益財団法人助けあいジャパン内) <http://kikkakebus.tasukeaijapan.jp/>  
 和歌山地区の取り組みまとめ [http://kikkakebus.tasukeaijapan.jp/student/wakayama\\_news/](http://kikkakebus.tasukeaijapan.jp/student/wakayama_news/)  
 ■和歌山地区連絡先  
 メールアドレス: kikkakebus.wakayama@gmail.com  
 Facebook: www.facebook.com/masamitsu.terada.79

### みんなで作る情報板 わかやまイベントボード

- 記念講演「平和といのちの輝きを求めて～トーク&マイム」  
 第59回和歌山県母親大会全体会の記念講演として開催されます。  
 日時 6月1日(日) 14:10～  
 場所 和歌山県労働福祉会館プラザホール4階大ホール  
 テーマ 心を伝えるよるこび・見えないものが見える楽しさ  
 講師 松井朝子さん(パントマイミスト)  
 参加費 500円(参加協力費)  
 問い合わせ 和歌山県母親大会実行委員会 (073-423-2261)
- 子ども虐待防止のための公開講演会  
 困難を抱える子ども、保護者を支える地域のネットワークのあり方を西成あいりん地区の取り組みから考えます。  
 日程 6月1日(日) 14:30～16:30  
 場所 和歌山県立医科大学保健看護学部大講堂  
 講師 藤川晴之さん(石井記念愛染園・わかさ保育園園長)  
 入場料 無料  
 問い合わせ NPO 和歌山子どもの虐待防止協会 (073-446-6724)
- 真道ゴーさん公開講演会  
 性同一性障害を公表し、プロボクサーとして和歌山県初の世界チャンピオンに輝いた真道ゴーさんの講演とトーク。  
 日時 6月8日(日) 13:30～15:00  
 場所 和歌山県男女共同参画センター「りいぶる」会議室A  
 参加費 無料(申込み必要)  
 定員 30名  
 問い合わせ・申込み NPO 法人和歌山eかんにい (メール ecompany821@gmail.com)  
 備考 託児あり(1人500円、申込み必要)
- 誰も教えてくれない自動車保険のほんとのトコロ  
 自動車保険の加入状況の確認やいざというときの初動対応など事前に学びませんか。  
 日時 6月9日(月) 10:00～12:00  
 場所 和歌山市北コミュニティセンター和室  
 参加費 無料(申込み必要)  
 問い合わせ・申込み 一般社団法人ジョインハンズ (メール joinhands.wakayama@gmail.com)  
 備考 キッズスペースあり。

紀の川市粉河のJR粉河駅前にある豪商の邸宅「山崎邸」が5月23日、リニューアルオープンしました。山崎邸の内部は100年前の建築時そのままにほぼ維持されており、大正時代の豪商の生活がうかがえる貴重な資料ともなっています。  
 この山崎邸は昨年の秋、一度オープンしていましたが、トイレ設備の不足、雨漏りや耐震問題など、様々な課題が出てきてしまっていたそう。そこで、数ヶ月に及ぶ修繕工事を経て、再オープンするこ  
 とになったそうです。  
 山崎邸は、障がい者を支援する社会福祉法人一麦会が中心になり運営されていますが、この建物を有意義に活用するため、NPO法人紀州粉河まちづくり塾、紀の川福祉コミュニティ農園、グリーン

創-hajime-cafe  
 営業日 木・金・土 11:00～15:00 ランチあり  
 紀の川市粉河 853 TEL 0736-60-8233  
 URL <http://hajime-cafe.jimdo.com>  
 JR粉河駅より徒歩1分。赤レンガ塀に大きな木戸の門構えが目印。  
 (植田祐起代)



ライフィニアわかやまと共に「山崎邸活用プロジェクト」が立ち上がり、イベントや企画、運営に関する情報交流をしているそうです。  
 建物内の「創-hajime cafe」もリニューアル。近日中に蔵の2階を利用したアートコーナーのオープンや様々なイベントが企画されることになっています。  
 (植田祐起代)

(上)(右)カフェ内部の様子  
 (左)「ボングリ図画耕作所」の奥野亮平さんプロデュースによる一麦会の皆さんの「ちんどん屋」が登場しオープンを盛り上げ。なんと楽器の多くは廃材での手作りだとか。  
**山崎邸学びの遊び場・ふれあい寺子屋**  
 6月毎週木曜日 16:30～18:00  
 テーマは「山崎邸四銃士夢を語る」。地域の魅力を再発見する週一回の学びの遊び場です。  
 主催 紀の川福祉コミュニティ農園(問合せ)  
 麦の郷紀の川・岩出地域生活支援センター  
 TEL 0736-67-7080

粉河駅前「山崎邸」リニューアルにより様々な活用が始まる  
 複数のNPOにより様々な活用が始まる

このほかの情報もたくさん掲載！  
 「わかやまイベントボード」URL  
 PC版 <http://eventboard.shiminjuku.jp/>  
 携帯電話版 <http://eventboard.shiminjuku.jp/m/>